

# The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2010年6月号 通巻18号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2010

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

## 無人でタヌキを監視する

センサーカメラを設置させてください



(左)見事、タヌキの撮影に成功。まともにフラッシュ光を見てびっくりしたに違いない。  
(右)あれっ、スズメが写ってる！鳥もまれに写ることがある。  
いずれも2008年12月、中野区で撮影。

タヌキを観察するには、タヌキをずっと追いかけていくのが一番いい方法だと多くの人は考えるでしょう。しかし、山奥では藪に阻まれ、住宅地でも民家など私有地に入らたらそれ以上の追跡はできません。これがタヌキ研究の難しさです(他の動物でも似たようなものです)。

では、タヌキの行動を調べるにはどうすればよいか。その方法のひとつがセンサーカメラ、つまり自動撮影装置を使うことです。センサーカメラは前を動物が通るとそれに反応して写真を撮ります。しかも電池残量がある限り動作し続けますので1週間以上放置しても大丈夫です。私も2台購入したのですが、出動回数はこれまでたったの3回だけ、しかも撮影に成功したのはまだ1回だけなのです。

### タヌキ、超警戒

センサーカメラを設置させていたのは中野区の民家です。そのしばらく前からためフンの回収にご

協力いただいていた、確実にタヌキが現れることがわかったのでカメラの設置をお願いしたのです。庭に1週間、2台を設置したのですが…。タヌキが写ったのは1台だけ、たったの3枚でした。しかも初回以外はセンサーカメラを大きく避けているようなのです。もう1台の方はためフンの近くだったにも関わらずまったく写っていませんでした。こことは別の場所で挑戦した時も、タヌキはそれまでよく来ていたはずなのに、まったく写っていませんでした。タヌキはセンサーカメラをあやしい装置だ感じて近づかなかったとしか思えないのです。タヌキがそんなに警戒心が強いとは思っていませんでした。頭を抱えることになってしまいました。

ちなみにセンサーカメラに最も多く写っていたのはネコでした。その無警戒っぷりといったらタヌキとは正反対です。毛色の特徴から何頭来ているのかまでわかってしまいますが、それではタヌキ研究ではなくネコ研究になってしまいます。

### 設置にご協力ください

センサーカメラ撮影の成功率を上げるには、いろんな場所で挑戦して経験を積むことが必要です。しかし、どこにでも設置できるわけではないのが難しいところです。公道上では通行人を無差別に写すため置けません。タヌキが確実に来る場所を数mの誤差で特定する必要があります。位置関係の都合からカメラを設置できないこともあります。

もしお庭に(あるいは会社、学校の敷地内に)タヌキがよく現れるのなら、センサーカメラを設置させていただけないでしょうか。ご協力よろしくお願いします。

### スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>